

ACE 人権通信 7月

人権教育・啓発通信：「エース」
発行：阿南中学校PTA家庭・人権教育部
2026年7月17日（金）
文責：人権教育主事 吉野 有佳

梅雨が明けたと同時に、夏の暑さがやってきました。暑い日が続きますが、阿中生は、暑さに負けず授業に、部活にがんばっています。今月は人権部の活動を紹介します。人権部の今月の目標は「一人一人が人権について考える機会をつくる」です。具体的な活動として、人権のつどいと人権ポスター原画コンクールを行いました。人権のつどいでは、人権部が意見を言いやすい雰囲気をつくり、人権ポスター原画コンクールでは投票や表彰も行いました。人権部からは「楽しかった」という声も聞こえてきました。どちらも充実した活動になりました。



◇人権のつどい

7月6日（月）に2年生、7月10日（金）に1、3年生が、各学年で人権のつどいを行いました。人権のつどいの前半は学級代表の生徒が身近にある人権課題や自分自身の実体験などさまざまな視点で書いた人権作文を発表することができました。また、作文の発表を聞いて感想を書いたり、意見を発表したりする時間を設け、より深まりのある人権意見発表会となりました。

後半は1年生が「やさしさ」、2年生が「しあわせ」、3年生が「なかま」について考えました。どんなときにやさしさやしあわせを感じるのか、自分にとってなかまとはどのような存在なのか、学年のみんなや先生たちと一緒に考え、共有しました。人によって思いは、それぞれ違っていいと思います。でも、人の考えや違う意見も大切にできる人になってほしいと思います。



4人の作文を聞いて、私は人権はとても大事だと思った。言葉の使い方は守らないと相手が辛い思っているから、今よりも優しく、みんなとしゃべっていきたくと思う。「ありがとう」や「ごめんね」をたくさん言える自分になりたい。
（1年 福島 百合さん）

4人の人権作文を聞いて、私たちの身近にはこんなにも問題があるのだと改めて分かりました。それをただ考えて終わるだけでなく、友達や家族への接し方を改め、人権への理解と行動を深めていきたいです。行動に移すからこそ立派になれると知りました。
（1年 山下 莉緒さん）

今日の作文を言ってくれた人たちは、自分から人権を守り、尊重するところがすばらしいと思いました。全員が楽しいと思えるようにしたいです。
（2年 石原 煌大さん）

後半で考えた「しあわせ」についてみんなの意見を聞いて、「しあわせ」にもたくさんの種類があると思いました。どの「しあわせ」もいいものなので、一人一人のしあわせを認め合っていきたいです。
（2年 鈴木 芽祥さん）

いろいろな人権について考えを聞いたり、自分の考えを深めたりすることはすごく大切なことだし、これからの自分の人生に関わってくることだと改めて思いました。様々な「人権問題」についても「なかま」についても、どれも互いを尊重していないと解決したり、さらに良くなったりはしないと思ったので、自分もみんなを知ったり、知ってもらいながら大切にしていきたいと思います。
（3年 林 美羽さん）

5人の人権作文を聞いて、共感できたこともたくさんあったし、私も気をつけていなければいけないと感じたことがたくさんありました。また、たくさんの人が発表していて、これは3年生のいいところなんじゃないかなと思いました。そのおかげで、いろいろな視点からの意見が聞けたし、「なかまとは」の様々な解釈のしかたが分かって、勉強になりました。これからはもっと人権について深く考えていきたいです。
（3年 神野 真里奈さん）

◇人権ポスター原画コンクール

一人ひとりを個人として尊重すること、お互いを認め合うこと、そんなことが大切にできたら、本当にすてきな世の中になるんじゃないだろうか。そういう思いを込めて、全校生徒に人権ポスターの原画を募集しました。たくさんの応募があり、どの作品も、理想にとどまらず、自分にできる身近なところから考えることができていました。応募してくださったみなさん、ありがとうございました。応募してくれた作品をいくつか職員室前廊下に掲示します。また、ご覧ください。



5人の作文を聞いて、とてもすがすがしい気持ちになりました。それぞれの立場から人権について細かく考えられていて、さすが3年生とだと思いました。後半は「なかま」についてたくさんの人が発表をしてくれたので、「なかま」について深く考えることができてよかったです。
（人権部 榊井 或さん）